

## ミサイルの脅威から国民を守るためには



特に、隣国である北朝鮮と国交がなく、実

先月、北朝鮮が諸国の反対を押し切ってミサイル発射実験を敢行しました。日本では、アメリカからもたらされた発射情報確認に時間がかかってしまい、韓国の政府発表からも大幅に遅れて発射から40分以上が経過してようやく政府発表の運びとなりました。今回は発射失敗だったとのこと。日本の国土にも被害はありませんでしたが、これが敵意を持った攻撃のミサイルであれば、このような確認の遅れは被害拡大に直結します。

日本が北朝鮮からのミサイルに戦慄したのは今回が初めてではありません。98年のテポドン日本上空通過という衝撃的な事件を契機として、自民党は情報収集衛星「IGS」の開発を即断、以降いまにいたるまでに複数の情報収集衛星が宇宙に送られてきました。

しかし、その効果はどうでしょうか。情報収集衛星の能力などについては機密事項となっているため、多くは明らかにされてはいませんが、今回の北朝鮮のミサイル発射前後の対応をみていると、効果的な情報収集ができていないことはおそらく間違いありません。現在充てられている年間数百億の予算は「IGS」の開発には絶対的に不足しているとのことで、まだ技術的に国防の責に耐えうる状態の「IGS」運用が達成されていないのではないのでしょうか。

国民の安全な生活を守ることは政府の根本的な使命であり、国防は福祉や司法とともに、隣国である北朝鮮と国交がなく、実

# 月刊脊振

福岡県議会議員  
(南区選出)  
**ひぐち明**  
県政活動報告誌



際に国民の生命や安全を脅かす事件も起こっている以上、北朝鮮からの攻撃についてはいつでも神経を研ぎ澄ませて動向を注視しておかねばなりません。せめて北朝鮮からの攻撃に関しての情報に十分に収集できるレベルまで「IGS」の性能を向上させるべきであり、情報収集衛星の中でもミサイル攻撃の即時感知に特化した早期警戒衛星も早期に開発して北朝鮮方面の警戒にあてるべきです。今回のように予告があったにもかかわらず、これほど公表に手間取っているようでは、平和ボケ状態だといわれてもしかたがありません。

## 国防への意識が低すぎる日本

国民の大切な税金をより適正なバランスで予算配分し、目先のことでだけでなくもっと大きな視野で国民の安全な生活を守っていくべきであるにもかかわらず、国防関連予算は削減傾向が続くばかり。これは明らかに国防にかかるコストを軽視した状態といえます。

国防において重要な役割を發揮すべき「IGS」開発予算は、例えば生活保護の予算と比較すればたった1%しか配分されないのです。私達の福岡は北朝鮮からの距離が近く、有事の際には真っ先に危険にさらされる恐れがあります。福岡の皆様にご信任いただいた県議会議員として、今のこの事態を黙って見過ごすわけには行きません。2008年に宇宙基本法が施行され、日本でも国家戦略としての宇宙事業を展開できるような体制作りをしようという流れがあります。この流れを後押しして、北朝鮮からの攻撃を見逃さないような警戒態勢を整えることは、北朝鮮の敵意を牽制し、攻撃を未然に防ぐ意味でも非常に重要です。

福岡の地から、きちんと声を上げて行きたいと思えます。みなさん、応援よろしくお願いいたします。

## 南区トピックス

今年も南区において、痴漢や不審者などの情報が多数寄せられています。そこで南警察署では、皆さんの注意を促すためにセーファイカードを制作しています。皆様、ぜひお役立てください。